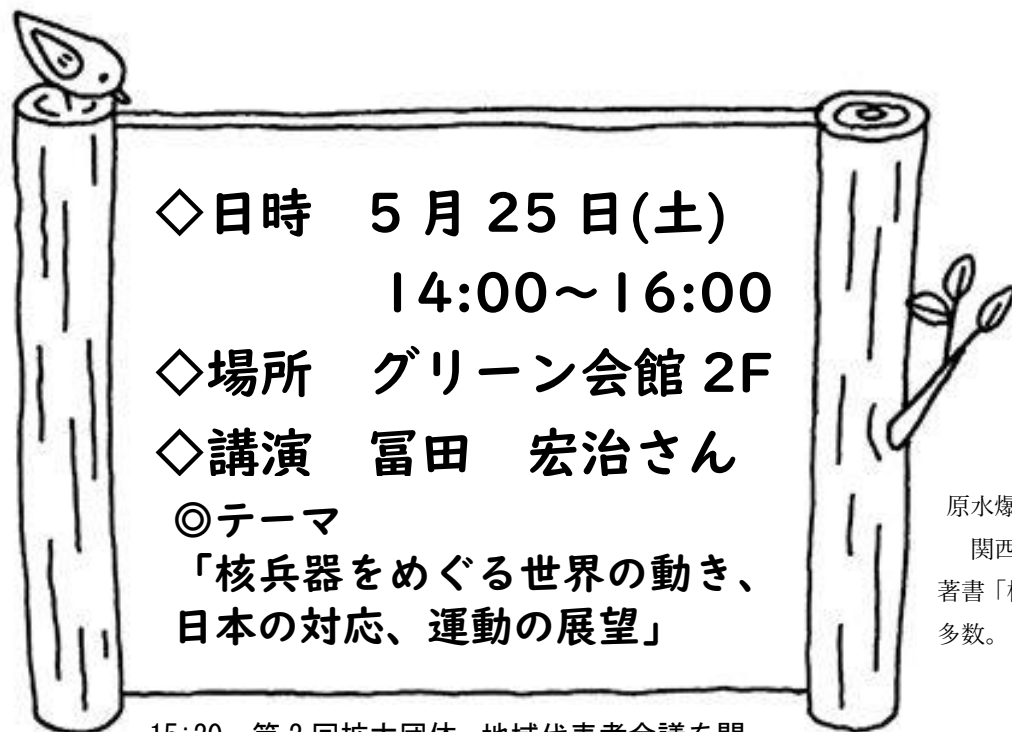


生物兵器・化学兵器・対人地雷・クラスター爆弾廃絶に続き

# 核兵器のない世界をめざすつどい



◇日時 5月25日(土)

14:00~16:00

◇場所 グリーン会館 2F

◇講演 富田 宏治さん

◎テーマ

「核兵器をめぐる世界の動き、  
日本の対応、運動の展望」

15:20~第2回拡大団体・地域代表者会議を開  
催し、「国民平和大行進」と「2019年世界大会」  
の意思統一おこないます。



原水爆禁止世界大会国際宣言起草委員長  
関西学院大学法学部教授・政治学者  
著書「核兵器禁止条約の意義と課題」など  
多数。



核兵器はこの地球上に一万五千発。核管理人員のケ  
アレクシス、コンピュータの誤作動、サイバー攻撃、テ  
ロリストによる核戦争。様々な危機管理をするより核  
兵器廃絶が確かな道です。核兵器と人類は共存でき  
ない「のですから」。

# 私たちは微力かもしれないが、決して無力ではない

## 「すてきな合言葉」私たち

原水爆禁止 2008 年の世界大会で長崎市長の田上富久さんの長崎平和宣言の中に・・・「長崎では、高齢者の被爆者が心とからだの痛みにたえながら自らの体験を語り、若い世代は『微力だけれど無力じゃない』を合言葉に核兵器廃絶の署名を国連に届ける活動を続け、市民は平和案内人として被爆の跡地に立ち、その実相を伝えています」



平和行進の出発集会の様子



## 核兵器と人類は共存できない だから核兵器廃絶!!

2017 年 7 月に「核兵器禁止条約」が国連で採択され、22 カ国が批准し、発効まで 28 カ国の批准が必要です。2020 年にも成立の見通しです。この条約は、ヒバクシャのみなさんが待ち望んでいた核兵器を禁止する法的拘束力を持ち、核兵器の保有、使用禁止ばかりか威嚇(おどし)も禁止しています。残念ながら唯一の被爆国の日本政府はこの条約の批准に反対し、「核の抑止力」にしがみついています。

しかし、世界の諸国は核兵器禁止で大きく動き出しています。アメリカでも「核兵器禁止条約」に支持決議をあげた議会は、カリフォルニア州議会、ワシントン特別区議会、ロサンゼルス市議会をはじめ、10 市町議会です。また、NATO(北大西洋条約機構・軍事同盟)加盟のスペインが条約批准に動き出し、オーストラリアは野党・労働党が政権を獲得できれば条約に批准するとしています。

## トランプ・プーチン 脅しの語録

●プーチン語録(2月21日朝日新聞)  
「ミサイル米本土も標的」

「(中距離核ミサイル)がロシアにとって脅威となる欧州に配備された場合、ミサイルの発射基地だけでなく、ミサイルの使用を決定する中心にも対抗せざるを得ない」と新型の超音速ミサイルなどで米本国を狙う考えを示した。

●トランプ語録(1月31日朝日新聞)  
「トランプ氏、核なき世界覆す」

(核兵器を)米国、同盟国、そして友好国への攻撃を抑止し、平和と安定を維持するための戦略の「基盤」と位置付けた。使える核を開発すること、核を使わない攻撃にも核で反撃する可能性を示唆。